



## 荒川区と共創～次世代のイノベーター育成～

矢内 篤



### 子どもの自立とキャリア形成を支援する、探究型教育事業

荒川区に開業予定の『起業とお金の学び舎』は、小学生から高校生を対象に、アントレプレナーシップ教育や金融リテラシー教育、資格取得支援を通じて、創造力と実践力を育む探究型教育事業です。学校の探究学習と連動したカリキュラムに加え、長期休暇中の学童支援や地域企業と連携した販売体験を実施し、保護者向けには FP相談も提供することで、地域と家庭をつなぐ学びの拠点として、子どもの自立とキャリア形成等を支援します。



この度は奨励賞という評価をいただき、誠にありがとうございます。現在、学校教員として起業とお金の学びに関する教育に取り組むとともに、創業準備を進めています。荒川区で講師として参加したワークショップをきっかけに、この地域での創業を決意し、本コンテストに応募しました。教育現場で培った実践を学校の枠を越えて地域にも広げ、荒川区に根ざした活動を一歩ずつ形にしてまいりますので、ご支援よろしくお願いいたします。



## 荒川区で働くひとの心と体を運動で整える

金澤 義富



### 働くひとのこころとからだを支援する、新しいメンタルヘルスケア

何らかのメンタル不調で、心療内科等に通院されている日本人の数は、2025年現在 600万人を超えています。さらに、うつ病などの精神疾患を抱えながら、何とか仕事をされている人の生産性の低下による経済損失は7兆円を超えるという数値が出ています。もう他人事とは言えない、このメンタル不調の社会問題。薬だけに頼る対症療法ではなく、運動や自分を育て直す心理支援を通して、新しいメンタルヘルスケアを創造いたします。



大切な人をうつ病、さらにその薬の副作用で亡くした経験から、心理学を学び心理系国家資格「公認心理師」を取得しました。本当に必要なお薬もたくさんあります。しかし、精神領域ではなるべくお薬に頼らない新しいメンタルヘルスケアの創造・普及をすることが、明るい未来の実現に繋がると信じています。令和10年までに従業員 50名未満の事業所もストレスチェック義務化となります。一緒にメンタル不調の改善を志せたら幸いです。



## 本と花で拓く商店街の文化拠点

増淵 加奈子  
暮らしの思想



### 本屋と花屋という形をとり、文化的な集いの場をつくる

暮らしの思想は、ブックディレクターと華道家が手がける本と花の複合店舗です。本屋と花屋という形をとりながら、商店街に不足していた文化的な集いの場をつくらします。商店街の住民や子育て世代、文化に関心のある若者を主な対象とし、私たち自身も地域に暮らす当事者として事業を運営します。小売、空間ディレクション、イベントを通じて人の流れと交流を生み、商店街のにぎわいと回遊性を育てます。



この度は奨励賞に選出いただきありがとうございます。私たちの実践しようとしている内容を“ビジネス”という枠組みで評価していただいたことそのものが、日常における文化の重要性を皆さんに届けられたように感じて嬉しいです。これからも街の賑わいと活力に貢献できるより頑張っていきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。ぜひ、お店にも気軽に遊びに来てくださいね。

### 総評

特別審査委員長  
株式会社三菱総合研究所理事長  
元東京大学総長  
小宮山 宏氏

受賞された皆様、誠におめでとうございます。日本は、地球温暖化、エネルギー資源の確保、少子高齢化、そして地方の過疎化といった、世界の共通課題を先進的に抱える課題先進国です。我々は、これらの多くの課題をむしろ成長の機会と捉え、世界に先駆けて自ら解決し、新たな需要と経済活動を創造していく必要があります。私も 2050 年までに実現すべき「プラチナ社会」のビジョンを掲げ、実現に向けて、森林、再生可能エネルギー、人財、健康、観光の 5 つの産業イニシアティブを提唱し、順次立ち上げています。今回受賞されたビジネスプランは、いずれも地域の課題解決や新たな可能性の追求に対し、独創的な視点と熱い情熱を持って真摯に取り組まれた、大変素晴らしい提案ばかりでした。受賞された皆様におかれましては、この度の栄誉を糧に、ビジネスプランの実現に誠実に取り組まれるとともに、今後も多様化する地域課題の解決と地域経済の活性化に向けて、更なる創意工夫をもって邁進されることを心よりご期待申し上げます。ともに「プラチナ社会」実現に向けて力強く歩んでまいりましょう。

### 区長からごあいさつ ～あらかわ発 地域をつなぐイノベーション～



本コンテストは、新たなビジネスの創出と区内産業の活性化を目的として平成25年度に創設し、今回で7回目を迎えました。今年度は、区内外から41件もの御応募を頂き、厳正な審査を経て、中でも、特に、区が抱える地域課題や区の活性化に資するビジネスプランを提案された9名の方々に賞をお贈りしました。多くのビジネスプランを応募いただいたことに感謝するとともに、荒川区の地域に寄り添った、情熱溢れるビジネスプランの数々に触れ、私も大変刺激を受けました。新しいビジネスが生まれる街には活力とにぎわいが生まれ、雇用や新しい文化が創出されるなど、地域産業の更なる活性化にもつながります。区といたしましては、受賞者が受賞されたビジネスプランを荒川区で実現するとともに、更なる発展へとつながるよう、精一杯サポートさせていただきます。皆様のさらなる御活躍を心から祈念いたします。

荒川区長 滝口 学

### 講評

審査委員長

元中央学院大学大学院特任教授  
松本 芳男氏

荒川区は区内の豊かな地域資源や産業集積を活用し、地域に根差した新産業の創出を支援して区内産業の活性化を図るためのさまざまな取り組みを展開してきました。例えば、2006年にスタートした MACC (Monozukuri Arakawa City Cluster) もその一例ですが、隔年に開催される荒川ビジネスプランコンテストもそのような活動の一環として行われ、今回が 7回目になります。毎回多くの応募がありますが、それらの中から選考されファイナルイベントに残った9名の方々のプレゼンテーションが 2025年10月18日に行われました。提出された事業計画書やプレゼンテーションを通じて皆さんの熱き思いを感じることができましたが、できれば数年後、これらの事業の経過などを伺う機会があれば素晴らしいとの思いを強くしました。

### 荒川区ビジネスプランコンテスト 2025 概要

<b>目的</b> 荒川区では、区内の豊かな地域資源や歴史ある産業集積を生かしつつ、地域に根差す新産業の創出を支援し、区内産業の活性化を図ることを目指しています。そこで区内外から地域の資源を活性化すビジネスプランを募りました。将来有望なプランを発掘するとともに、これから区内での起業や事業展開を目指す方の成長を応援するため「荒川区ビジネスプランコンテスト2025」を開催しました。	<b>広く波及効果の見込めるものであること。</b> ※なお、区の基本構想で掲げる「子育て」や「健康」の支援、「安全安心」や「地域のにぎわい」の創出等に寄与するプラン、日暮里織機街の活性化に寄与するようなプランを歓迎する。 3. 社会貢献性、革新性、事業性があり、継続的な事業運営が期待できるものであること。 4. 公序良俗に反せず、社会通念上、適切と認められるものであること。 5. 他のビジネスプランコンテスト等において未受賞(最優秀賞以外は可)であること。
<b>応募資格</b> 以下の項目のいずれかに該当する者(団体の場合、その構成員の全てが以下の項目のいずれかに該当すること。) 1. 創業予定者又は創業後概ね5年以内の個人・法人・団体 2. 新分野進出や新事業展開(以下「新分野進出等」)を予定している個人・法人・団体又は新分野進出等後概ね5年以内の個人・法人・団体	<b>各賞の紹介</b> ・最優秀賞(賞金30万円) 1件 ・優秀賞(賞金20万円) 1件 ・城北信用金庫賞(賞金15万円) 1件 ・東京商工会議所荒川支部会長賞(賞金15万円) 1件 ・奨励賞(賞金5万円) 5件 ・オーディエンス賞 1件
<b>対象事業</b> 1. 将来的に区内での創業・新分野進出や新事業展開を想定するものを歓迎する。 2. 業種や事業分野は問わないが、区の地域資源(モノづくり産業、伝統工芸等)の活用や地域課題の解決が期待でき、	<b>事業経過</b> ■応募期間:令和7年6月6日から8月14日 ■応募件数:41件
<b>主催:</b> 荒川区 ■協賛: 城北信用金庫、東京商工会議所荒川支部 ■後援: 経済産業省関東経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部、公益財団法人東京都中小企業振興公社、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、株式会社日本政策金融公庫上野支店・千住支店、国立大学法人山形大学工学部、東京都立大学学法人、学校法人東京電機大学、学校法人東洋大学、東横信用金庫、朝日信用金庫、瀧野川信用金庫、東京東信用金庫、荒川区工業団体連合会、一般社団法人荒川区中小企業経営協会	<b>審査委員会</b> ●特別審査委員長 小宮山 宏氏 (株式会社三菱総合研究所理事長、元東京大学総長) ●審査委員長 松本 芳男氏(元中央学院大学大学院特任教授) ●審査委員 濱口 慎吾氏 (経済産業省関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長) 瀬崎 恭弘氏 (独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部 副本部長) 近藤 仁氏(東京商工会議所 荒川支部 事務局長) 寺田 直樹氏(城北信用金庫 常務理事) 石田 靖史氏(荒川区しんさん協議会) 伊藤 淳子氏(A-Girl llc、鎌倉わくわくサロン、nojolink 代表。(公)日本フードスペシャリスト協会理事、創業プランナー) 小林 弘幸氏(荒川区 産業経済部長) ■選考方法 一次審査:書類選考 最終審査:プレゼンテーション選考 ■審査基準 社会貢献性・革新性・事業性・継続性 ■ファイナルイベント:令和7年(2025年)12月1日 ふらっとにっぽり 3F 多目的スペース ビジネスプラン発表、表彰式、交流会開催

問合せ先:荒川区産業経済部経営支援課産業活性化係 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 TEL:03(3802)3111(内線458) FAX:03(3803)2333 www.city.arakawa.tokyo.jp 令和8年2月発行 [登録(07)0109号]



# 受賞プラン決定!

地域課題の解決や荒川区内の地域産業の活性化につながる  
ビジネスプランを募集し、受賞プランを決定しました。



シニアの困り事ゼロ・自費訪問サービス事業  
藤本 将和(株式会社CareLight)

ロボスポ専用ロボットキットの開発と販売  
関根 史人(株式会社ロボッスポーツゲームズ)



地域資源と和食で魅了する  
新コト消費の事業  
砥上 友香(和株式会社)



デジタルオーダーメイド  
型紙の販売  
伊藤 智行(工房奥谷)



荒川遊園で知育ラボ! AIで培う新たな感性  
多賀 太  
荒川区と共創～次世代のイノベーター育成～  
矢内 篤  
本と花で拓く商店街の文化拠点  
増淵 加奈子(暮らしの思想)

荒川区発! 科学で変わる街ぐるみ健康革命  
天野 亜弥子(Earth & Health)  
荒川区で働くひとの心と体を運動で整える  
金澤 義富



## シニアの困り事ゼロ・自費訪問サービス事業

藤本 将和  
株式会社CareLight



ケアライトはシニアとご家族の生活を支える自費の訪問介護サービスです

こんなお困りごとはありませんか？

- 介護保険内ではできないと断られてしまった
- いざ頼もうと思うとどんな人が来るか不安
- 病院に付き添いたいが急には仕事を休めない
- 離れて暮らしているので普段の様子分からない

ケアライトが選ばれる理由

- 1 自費（保険外）サービスなので、幅広いお困りごとをサポート可能**
  - ・普段のヘルパーではできないことも、サポート可能です
  - ・具体的なサポート内容は次のページをご覧ください
- 2 介護資格を持ったプロがサポート**
  - ・訪問するスタッフは全員介護の資格を持っています
  - ・生活のお困りごとだけでなく、介護のサポートも可能です
- 3 当日中の訪問可能**
  - ・16時までのご依頼で、当日中でも対応可能です
  - ・登録は無料なので、備えに登録するだけでも安心です
- 4 すぐ見える実施報告で安心**
  - ・サポート完了後、事前にご登録いただいたご家族等にメールまたはLINEで実施報告を行います（次のページに報告例があります）
  - ・状況に応じて文章だけでなく写真での報告も行っており、離れて暮らすご家族の方でも安心してご利用いただけます

相談無料 03-6555-4921

LINE相談は24時間受付中

## 「誰に頼めば良いかわからない」がない地域社会を創る

「ケアライト」は高齢者とその家族の日常生活を支える、自費に特化した訪問介護サービスです。

- ①あらゆるシニアが対象  
ケアライトは自費のサービスなので、サービスの利用に要介護認定は必要ありません。病院の付き添いや、スマホの利用サポートまで、シニアの生活のあらゆるお困りごとをサポートします。
- ②利用しやすい料金体系  
1回 20分から短時間からも利用が可能で、20分あたりの料金は990円(税抜)です。また、毎週決まった時間にお伺いする定期利用も可能で、日常生活をしっかりとサポートすることが可能です。
- ③安心の運営体制  
訪問するスタッフは、全員介護の資格を有しています。また、離れて暮らすご家族の方には、利用実績をLINEでお送りしており、安心してご利用いただけます。ケアライトは「誰に頼めば良いかわからない」がなくなる地域社会を創ります。

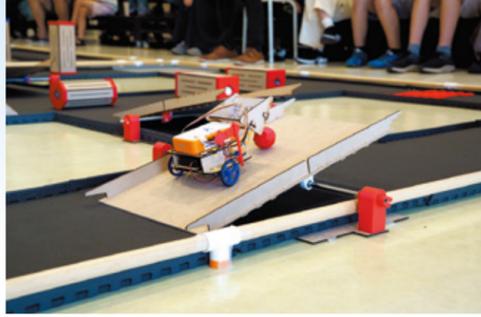


最優秀賞ならびにオーディエンス賞という素晴らしい賞をいただき、心より光栄に存じます。これまでご支援いただいた皆様、そして切磋琢磨し合った参加者の皆様に深く感謝いたします。株式会社 Care Lightは「介護家族も安心できる社会をつくる」ことをビジョンに掲げています。今回の受賞によりシニアやそのご家族が抱える課題への価値提供が確かなものであると感じております。一方でこれらは喫緊の課題であり、現状のケアライト事業だけでは本質的な解決には足り得ません。本賞の重みを糧に、慢心することなく、社会へ貢献できる事業へと成長させていく決意です。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## ロボスポ専用ロボットキットの開発と販売

関根 史人  
株式会社ロボトスポーツゲームズ



### ロボットキット「Pocorobo」を開発・販売し、全国に展開

私たちは「ロボトスポーツ」という、ロボット競技とスポーツを融合した新しいスポーツ文化を提唱し、その普及に取り組んでいます。ロボトスポーツは技術力だけでなく、チームワークや戦略、コミュニケーションを要し、参加者の問題解決力の向上にもつながります。一方で、初心者にとっては「何から始めればよいか分からない」「機材やルール準備が難しい」「費用がかかる」といった参入障壁がありました。そこで、手頃な価格で持ち運びやすく、初心者でもすぐに参加でき、上達しても長く楽しめるロボットキット「Pocorobo」を開発・販売します。さらに、体験会・ワークショップ・大会の開催を通じて、個人から学校・企業までが参加し続けられるコミュニティ基盤を提供し、将来的には荒川区から全国展開も目指します。



荒川区に拠点を置く事業者として、このたび優秀賞を頂き大変光栄です。今後も精進してまいります。受賞を励みに、ロボトスポーツを誰もが気軽に楽しめる文化として根付かせるため、荒川区の自治体・教育機関・企業の皆様と連携し、体験会や大会の開催、キットや運営環境の充実に一層取り組みます。子どもから大人まで参加できる場づくりを進め、ものづくりの楽しさと挑戦の機会を地域に広げ、荒川区から新しいスポーツの発信を目指します。引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



## 地域資源と和食で魅了する新コト消費の事業

砥上 友香  
和株式会社



この度は城北信用金庫賞を受賞させていただきました。ありがとうございました。普段は子育てをしながら既存事業の運営をしているため、これまでの取り組みを振り返ったり、今後のことを考える余裕はなかったのですが、二年に一度、荒川区ビジネスプランコンテストがあることを以前から知っていたため、新規事業に向き合う良い機会となりました。今後は、今回提案したビジネスプランを実現させて、荒川区にもっと貢献してゆきます。

### 訪日観光客と荒川区の企業をつなぐ、文化体験型飲食施設「茶堂」

和株式会社は「和食で世界中の人々を豊かに」をパーパスに掲げるベンチャー企業です。2013年から訪日外国人向け和食料理教室「YUCa's Japanese Cooking®」を主宰し、この事業領域におけるパイオニアとして和食の世界を広めてきました。今回の新規事業では「日本の食文化や人々の暮らしを知りたい!」という訪日観光客と「自社商品の魅力を世界に伝えたい!」という荒川区の企業をつなぐ、文化体験型飲食施設「茶堂」を新設します。



## デジタルオーダーメイド型紙の販売

伊藤 智行  
工房奥谷



### 3D技術でつくるオーダーメイド型紙

本プランは、日暮里織維街に店舗を構え、3Dスキャンと専用アプリを活用して、一人ひとりの体格に正確にフィットするオーダーメイド型紙を提供する新しいサービスです。従来の既成型紙では難しかったサイズ調整やデザイン変更を、誰でも簡単に行えることが特長です。洋裁をより楽しく、より自由なものにし、個人に寄り添った服作りと織維街の新たな魅力創出を目指します。



このたびは、私のビジネスプラン「3D技術でつくるオーダーメイド型紙」を評価いただき、誠にありがとうございます。洋裁をもっと楽しく、もっと身近にしたいという思いで取り組んできた内容が、このような形で認められたことを大変うれしく思います。本受賞を励みに、テクノロジーを活かした新しい服作りの可能性を広げてゆきたいと考えております。



## 荒川遊園で知育ラボ! AIで培う新たな感性

多賀 太



AIがあらかじめ遊園で動物や食事を解説する「知育アプリ」あらかじめ遊園にて、動物や食事をスマホで撮影すると AIが解説を行う「知育アプリ」の提供サービス。拡大する知育市場を背景に、これまでにない特別な体験を通じて子供の探究心を育みながら、入園者数増加と収益改善を図る。将来的には伝統工芸の技術継承や学校教育へのAI活用へ展開し、荒川区全体を活性化。



初めてのビジネスコンテストへの挑戦で、このような賞をいただき大変光栄です。「保育士資格を持つ AI起業家」という独自の経験を活かし、今後も既存の枠にとらわれない新たな課題解決に挑戦し続けたいと思います。そして何より、今回の入賞という一歩が、未来を担う子ども達の笑顔につながるような、温かい価値の創出へと結びつくことを心から願っています。



## 荒川区発! 科学で変わる街ぐるみ健康革命

天野 亜弥子  
Earth&Health



### 荒川区内を楽しく歩きながら、ダイエットが叶うプログラム

「街をジムにする」発想で、荒川区内を歩きながら健康習慣を身につけるダイエットプログラム。行動科学と習慣設計を活かし、意志や根性に頼らない新しいダイエット。ちとひや食堂での美味しいランチ付きダイエットワークに始まり、体操とウォーキングを体験。ジョイフル三の輪商店街では、専門店にご協力頂き味噌・魚・肉・野菜などの健康食材を調達。楽しんでいるうちに、約5,000歩を達成し、学びと仲間づくりまで叶います。



奨励賞をいただき誠にありがとうございます。ご協力店舗や応援いただいた方々のおかげです。本取り組みの原点は、当時73歳の母です。無理なく13kgやせて健康と笑顔を取り戻した奇跡に驚き、この方法を広げてゆきたいと感じました。「がんばれないほど習慣設計が必要」—その想いから、続けてきました。人と人の距離が近い荒川区だからこそ再現できる、やさしい健康づくりを、皆様と一緒に育てていけたら嬉しいです。